平成 20 年５月２日

各　　位

会　社　名　クリエイト株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　福井　道夫
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号：３０２４）
問い合わせ先
専務取締役　管理本部長　福井　珠樹
電話番号　06-6538-2333

営業外費用の発生、平成 20 年３月期通期業績予想との差異及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 11 月 13 日付当社「平成 20 年３月期中間決算短信」において発表いたしました平成 20 年３月期（平成 19 年４月１日～平成 20 年３月 31 日）の通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたします。あわせて営業外費用の発生を下記のとおりお知らせいたします。

記

１．営業外費用の発生及びその内容

当社グループの主力製品であるトーロー印製品等の素材及び製品の一部は、大半を主に中国より仕入れており、その製造原価は為替変動の影響を受けているため、そのリスクをヘッジする目的として、主にダイドレ株式会社において、平成 17 年３月期に外国為替先物予約契約及び通貨スワップ契約を締結しておりますが、平成 20 年３月期末において当該外国為替先物予約契約等のデリバティブ評価損失 125 百万円を営業外費用に計上いたしました。

２．平成 20 年３月期通期業績予想との差異

（１）差異の内容

【連結】　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回予想（Ａ）	27,623	683	762	384
今回予想（Ｂ）	27,119	663	639	313
増 減 額（Ｂ－Ａ）	△504	△20	△123	△71
増 減 率	△1.8%	△2.9%	△16.1%	△18.5%
（ご参考） 前期実績(平成 19 年３月期)	26,694	710	840	475

【個別】　（単位：百万円）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回予想（Ａ）	27,432	637	668	346
今回予想（Ｂ）	27,016	644	688	360
増 減 額（Ｂ－Ａ）	△416	7	20	14
増 減 率	△1.5%	1.1%	3.0%	4.0%
（ご参考） 前期実績(平成 19 年３月期)	26,539	626	675	350

（２）差異の理由

平成 20 年３月期におきましては、平成 19 年 11 月 13 日付当社「平成 20 年３月期中間決算短信」の発表以後も、平成 19 年６月 20 日施行の改正建築基準法による影響が長期化しており、新設住宅着工戸数が大幅に落ち込むなど需要停滞局面にあり、一方、原油価格・原材料価格の高騰に伴う製品価格値上げが実施されるなど、当社グループを取り巻く環境は厳しさを増すこととなりました。

そのような状況下において、当社グループは、「営業拠点の拡充」、「取扱商品の拡充及び新規取引先・新分野の開拓」、「財務体質の強化」の３点を基本戦略として、需要減少をカバーするべく事業を展開いたしました。

しかしながら、連結及び個別の売上高につきましては、平成 19 年６月以降の新設住宅着工戸数を始めとする建築物全体の減少が、給排水・空調・衛生設備などの管工機材の需要減少に繋がり、それら需要減少分をカバーするに至らず、前回予想を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、連結においては、売上高の減少に加えて、需要減少による競争激化の影響を受け販売価格が落ち込むなど利益率が低下傾向にあり、加えて原材料価格高騰に伴う製造原価の上昇などもあり、営業利益は前回予想を下回る見通しとなりました。また、上記１．に記載のとおり、当期末に当該為替予約契約のデリバティブ評価損失 125 百万円を営業外費用に計上いたしたことから、経常利益及び当期純利益は前回予想を下回る見通しとなりました。一方、個別においても、連結同様に、売上高の減少、利益率の低下傾向はあったものの、販売管理費及び一般管理費が 68 百万円減少したことなどにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回予想を上回る見通しとなりました。

３．平成 20 年３月期期末配当予想の修正

上記の通期業績予想との差異を踏まえて、平成 20 年３月期期末配当予想額を下記のとおり修正いたします。

（１）修正の内容

	１株当たり配当金		
（基 準 日）	中間期末	期　　末	年　　間
前回予想 （平成 19 年５月 14 日公表）	10 円 00 銭	16 円 00 銭	26 円 00 銭
今回修正	10 円 00 銭	13 円 00 銭	23 円 00 銭
（ご参考） 前期実績（平成 19 年３月期）	10 円 00 銭	15 円 00 銭	25 円 00 銭

（２）修正の理由

当期の期末配当金につきましては、平成 19 年 11 月 13 日時点においては発表させていただいた見通し以上の業績を目指すべく、１株につき 16 円 00 銭の配当予想を据え置いておりましたが、平成 20 年３月期における配当金算出の基準となる連結業績における当期純利益が、上記２．にて記載のとおり、平成 19 年 11 月 13 日に発表させていただいた業績予想値よりも下回り、313 百万円程度となる見通しであるため、当社の利益分配に関する基本方針に鑑み慎重に検討しました結果、１株当たりの期末配当予想を 13 円 00 銭に修正いたします。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により記載の予想数値とは異なる場合があります。

以　上